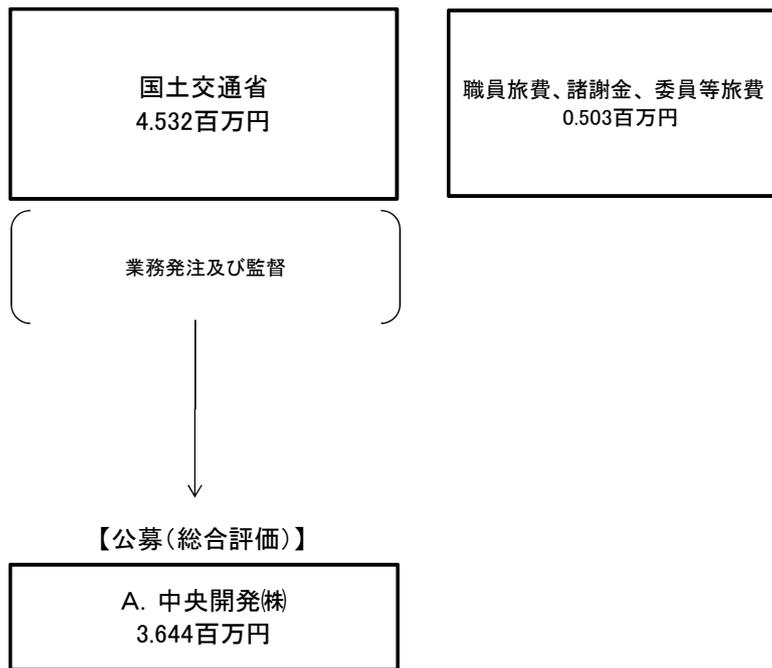


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	水源地域対策基本問題調査費		担当部局庁	水管理・国土保全局水資源部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成4年度		担当課室	水資源政策課		課長 池本 武広			
会計区分	一般会計		施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する					
根拠法令(具体的な条項も記載)	水源地域対策特別措置法(昭和48年法律第118号)第14条		関係する計画、通知等	-					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水源地域対策特別措置法に関する法の施行事務を適切に行うとともに、法に指定されたダムの水源地域における生活再建や活性化等の施策について、国が実施すべき基本的な問題に対しての調査および対策の立案を行う。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	本事業は、安定的な水資源の確保に資するため、水源地域における急激な過疎化、高齢化に伴う担い手不足等の現状を踏まえ、水源地域の自立的な活性化・保全の活動に必要な人や資金を継続的に確保する手法について、調査・検討を実施するものである。 また、全国の水源地域(水の里)において行われている地域活性化の取り組みを推進していくため、水源地域の特産品や観光に関するプロモーション等を行う「水の里応援プロジェクト」を平成22年度から実施しており、流通事業者と連携して全国のバイヤー等を対象にした物産展に水源地域の特産品を出展するほか、着地型旅行企画を対象とした「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト」を主催するとともに、観光業界の協力により受賞企画等のプロモーションの支援活動を実施する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算							
		繰越し等							
		計	9	6	5	8			
	執行額	6	6	4					
	執行率(%)	67%	100%	80%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(28年度)	
	【貯水池の建設に伴う水源地域における社会基盤整備事業の完了割合】			成果実績	%	54	58	63	78%
	水源地域対策特別措置法に基づく水源地域整備計画のうち、進捗中の整備事業数を分母とし、そのうち完了した整備事業数を分子とした割合を指標とする。(単位:%)			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	水源地域の活性化の取り組みを支援するため、H22年度より「水の里応援プロジェクト」を実施している。			活動実績(当初見込み)	件	59	60(60)	48(60)	60
	・観光プロモーション(水の里の旅コンテストの応募数) ・特産品プロモーション(プロモーションを行った特産品の地域数)			地域	30	25(25)	56(25)	25	
単位当たりコスト	・観光プロモーション:9,100(円/件) ・特産品プロモーション:21,900(円/地域)			算出根拠	・観光プロモーション:436,000円/48件 ・特産品プロモーション:1,224,000円/56地域				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	0.408							
	職員旅費	1.873							
	委員等旅費	1.223							
	水資源対策調査費	4.561							
	計	8.065							

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・今後の水源地域対策においては、水源の機能の保全に資する水源地域の活性化・保全方策の調査検討に取り組む必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・業務発注については、総合評価落札方式により競争性・透明性を高めた契約手続により行っているところである。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	・水源地域における事業化を支援する人的ネットワークの構築、「水の里応援プロジェクト」として、「水の里」の特産品や観光資源のプロモーション活動を実施した。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>水源地域の活性化・保全の方策を検討する基礎資料として、ダム水源地域の現況について調査を行った。</p> <p>また、水源地域の活性化に資するため、「水の里応援プロジェクト」として「水の里」の特産品や観光資源のプロモーション活動を実施するにあたり、国土交通省・観光庁が後援している「旅フェア日本2012」において「水の里の旅コンテスト」のブース出展を行うなどの連携を図った。</p> <p>業務発注については、総合評価落札方式により競争性・透明性を高めた契約手続により行っているところである。</p>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	135	平成23年	193	平成24年	207

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



安定的な水資源の確保に資する水源地域の活性化方策を検討するための基礎資料として、ダム水源地域の現況について調査を行った。
また、全国の水源地域(水の里)の維持や地域活性化を推進していくための、「水の里応援プロジェクト」として、「水の里」の特産品や観光資源のプロモーション活動を実行した。「水の里」の特産品については、流通事業者と連携して全国のバイヤー等を対象にした物産展に出展し、観光については、着地型旅行企画を対象とした「水のめぐみ」とふれあう水の里の旅コンテスト」を主催するとともに、受賞企画等のプロモーション支援活動を観光業界の協力により実施した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	調査・検討等	3,644			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中央開発(株)	水源地域における活性化について具体的な仕組みや取組の調査・検討	3.644	2	80.39%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					